

中西だより

平成23年10月31日
練馬区立中村西小学校
No.7(11月号)

未来の世界の主役たちに

校長 福田 純子

昔の学芸会は、今よりも主役脇役の区別がはっきりしていたように思います。引っ込み思案で転校を繰り返していた私は、いつもその他大勢の役でした。隅っこで小雀やお花やらになりながら、主役の級友をあこがれの眼差しで見っていたものです。

今、学芸会の練習風景を見ていると、主役脇役という境界は薄くなっているように感じます。担任たちはどの子にも光る場面があるように、全員が一体感をもてるように、劇のもつメッセージが集団形成に生きるように、…と配慮しながら丁寧に指導を重ねています。どんな役も係も、それがなくては劇が成立しないことを全員が意識し、自分に応じて表現する力を磨きながら共通の目的に向かって創り上げていくようにするのです。そこに、劇団ではなく学校で行う劇の教育的な意義があります。

また、どの子にも、なくてはならない役割があるということは、その子が集団の中で安心できる居場所を得ることにつながり、自己有用感を高めます。

教室では見られない力を発揮する子供もいます。それが子供たちに多様な尺度を育てます。私たち教

師も、子供の姿を認め、それに驚き、励まし続ける心の柔らかさを大切にしたいと思います。

明治時代の教育学者、倉橋惣三の言葉です。

「驚く心」 (倉橋惣三「育ての心」より)
おやこんなところに芽がふいている
畠には、小さな筍の若葉が、
えらい勢いで土の塊を持ち上げている
藪には固い地面をひび割らせて、
ぐんぐんと筍が突き出してくる
伸びてゆく蔓のなんという速さだ
竹になる勢いのなんというすさまじさだ
おや この子にこんな力が…
あっ あの子にそんな力が…
驚く人であることに於いて
教育者は詩人と同じだ
驚く心が失せた時、
詞も教育も形だけが美しい殻になる

子供たちは、どの子もみんな未来の世界の主役です。当日は、盛大な拍手で、子供たちの達成感を支えてくださるようお願いします。

11月行事予定

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1日(火) 開校記念日 | 17日(木) たてわり班遊び 委員会活動 |
| 2日(水) 安全指導 | 18日(金) お誕生日給食 |
| 3日(木) 文化の日 | 22日(火) 幼保小交流会
校内研究会(4時間授業) |
| 6日(日) 中村西町会運動会 | 23日(水) 勤労感謝の日 |
| 8日(火) 学芸会係児童打ち合わせ(6年) | 24日(木) 児童集会 クラブ活動 |
| 10日(木) 学芸会リハーサル 前日準備(6年) | 25日(金) 社会科見学(3年) |
| 11日(金) 学芸会(児童鑑賞日) | 美しい日本語の話し方教室(6年) |
| 12日(土) 学芸会(保護者鑑賞日) | 28日(月) 社会科見学(6年) |
| 14日(月) 振替休業日 | 30日(水) 連合音楽鑑賞教室(5年) |
| 15日(火) 学芸会片付け(5年) 避難訓練 | |



11月の生活目標 すすんでしごとをしよう